

令和5年度
事業報告書

学校法人 花園学園

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人名 学校法人花園学園
 所在地 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8番地の1
 ホームページ <https://www.hanagaku.jp/>

(2) 建学の精神

花園学園は、明治5年に臨済宗妙心寺の山内に宗門の子弟の教育機関として創設された「般若林」に始まる、「禅のこころ」を建学の精神とする学園です。

令和4年に学園創立150周年を迎えた本学園は、創設以来、禅を根本に据えた教育を実践して成果を積み重ね、在学生約1,400人の大学、約1,450人の中学・高等学校、約250人の幼稚園を擁する学園へと成長してまいりました。

本学園の目的は、単なる知識の獲得ではなく、禅を根底とした「こころを育てる」教育であり、これこそが現代社会が抱える諸問題を解決する大きな糸口となると確信しております。

花園大学は開創当時、臨済宗教団の近代化を図る上での主要機関として重要な存在意義を持っておりました。現在では、宗門の子弟だけでなく、歴史や福祉など目標の異なる多くの学生が集まり勉学や課外活動に励んでいます。「禅的仏教精神による人格の陶冶」を教育理念とし、「自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人間を育成すること」をミッションに、教育指導、人材育成に取り組んでいます。

花園中学・高等学校は、教育方針として「《禅のこころ》《校訓》《臨済宗妙心寺派の『生活信条』》を教育活動に取り入れ、生きる力を育むこと」を掲げ、生徒自身が目的意識を持った学習の継続、より高い目標に挑戦するという気概と自立心の涵養、さらに知徳体のバランスのとれた豊かな人間性の育成を目指しています。個々を尊重しつつ、自分自身の目標に向かって、正しく判断し行動するための教育を行っております。

洛西花園幼稚園は、仏教的な環境に触れる中で人間形成の基礎を培い、情操豊かな園児を育むことを目標としています。特に、「健康でいきいき活動し、豊かに生きるための基礎を身につけること」を教育方針に掲げて日々園児たちに接しております。

このように禅を根底とした教育の実践により、私たちが目指す自ら学び自ら解決する「自立した自分」「わたしの中にある仏の心」を確かなものとし、それをともしびとして生き、自らの輝きをもって社会を照らし貢献してゆく人材を育てることこそが大切だと確信しています。花園学園はこれからも豊かな人間性を具えるための教育を目指し邁進してまいります。

(3) 学校法人の沿革

明治5	般若林(三年制)を創立(聯合総曩設立の為、明治8年に閉鎖)
明治19	大教校を設立
明治27	大教校を廃し普通学林を設立
明治36	花園学林と改称
明治40	花園学院と改称して、中学部・高等部に分ける
明治44	花園学院高等部を臨済宗大学と改称し独立
大正8	花園学院中等部を花園中学と改称
昭和2	組織変更により花園中学校を設立(臨済学院中学部設立の為、昭和13年に廃校)
昭和9	臨済宗大学を臨済学院専門学校と改称 臨済学院中学部を設立
昭和10	設立者を財団法人妙心寺派教学財団に変更
昭和22	京都市委託により、臨済学院中学部に花園中学校附設(昭和24年に廃止)
昭和23	学制改革により臨済学院中学部を花園高等学校に改制
昭和24	花園大学設立 仏教学部仏教学科設置
昭和26	財団法人妙心寺派教学財団を学校法人妙心寺派教学団に組織変更
昭和27	花園高等学校 商業科を新設
昭和39	花園大学 仏教福祉学科設置
昭和41	学校法人妙心寺派教学団から学校法人花園学園に改称 花園大学 文学部設置
昭和43	花園高等学校 自動車科を設置
昭和52	花園大学 総合移転
昭和53	花園高等学校 普通科に特別進学コースを新設
昭和55	花園大学 文学専攻科設置
昭和56	洛西花園幼稚園設置
昭和57	高等学校寄宿舎(雪江寮)閉寮
昭和61	花園大学 国際禅学研究所設置
平成4	花園大学 社会福祉学部設置 社会福祉学科
平成6	花園大学 大学院文学研究科設置
平成7	花園高等学校 商業科を募集停止
平成10	花園大学 大学院社会福祉学研究科設置 花園高等学校 自動車科を自動車工学科に名称変更
平成12	花園大学 歴史博物館設置 花園大学 大学院文学研究科博士(後期)課程設置 花園大学 社会福祉学部社会福祉学科福祉介護コース開設

平成14	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科設置 花園大学 文学部仏教学科を国際禅学科に名称変更
平成15	花園高等学校 商業科を廃止 花園中学校設置
平成18	花園高等学校 自動車工学科を募集停止
平成19	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科を臨床心理学科に名称変更 花園大学 臨床心理士養成課程（第1種）指定
平成20	花園大学 文学部文化遺産学科設置 花園大学 文学部創造表現学科設置 花園大学 文学部史学科を日本史学科に名称変更 花園大学 文学部国文学科を日本文学科に名称変更
平成21	花園大学 社会福祉学部児童福祉学科設置
平成22	生涯学習センターを開講
平成24	花園学園創立150周年記念事業準備室設置
平成25	花園大学 文学部国際禅学科を仏教学科に名称変更 花園学園 創立150周年記念事業事務棟（又玄館）設置
平成28	花園大学 文学部創造表現学科を募集停止 文学部文化遺産学科を募集停止 花園中学校 中高一貫スーパーグローバルZENコース新設 中高一貫ディスカバリーコース新設 一貫Sコースを廃止
平成29	花園大学 留学生別科設置
令和4	学園創立150周年記念式典を挙げる
令和5	花園大学 文学部文化遺産学科廃止 花園大学 文学部創造表現学科廃止

(4) 設置する学校・学部・学科等

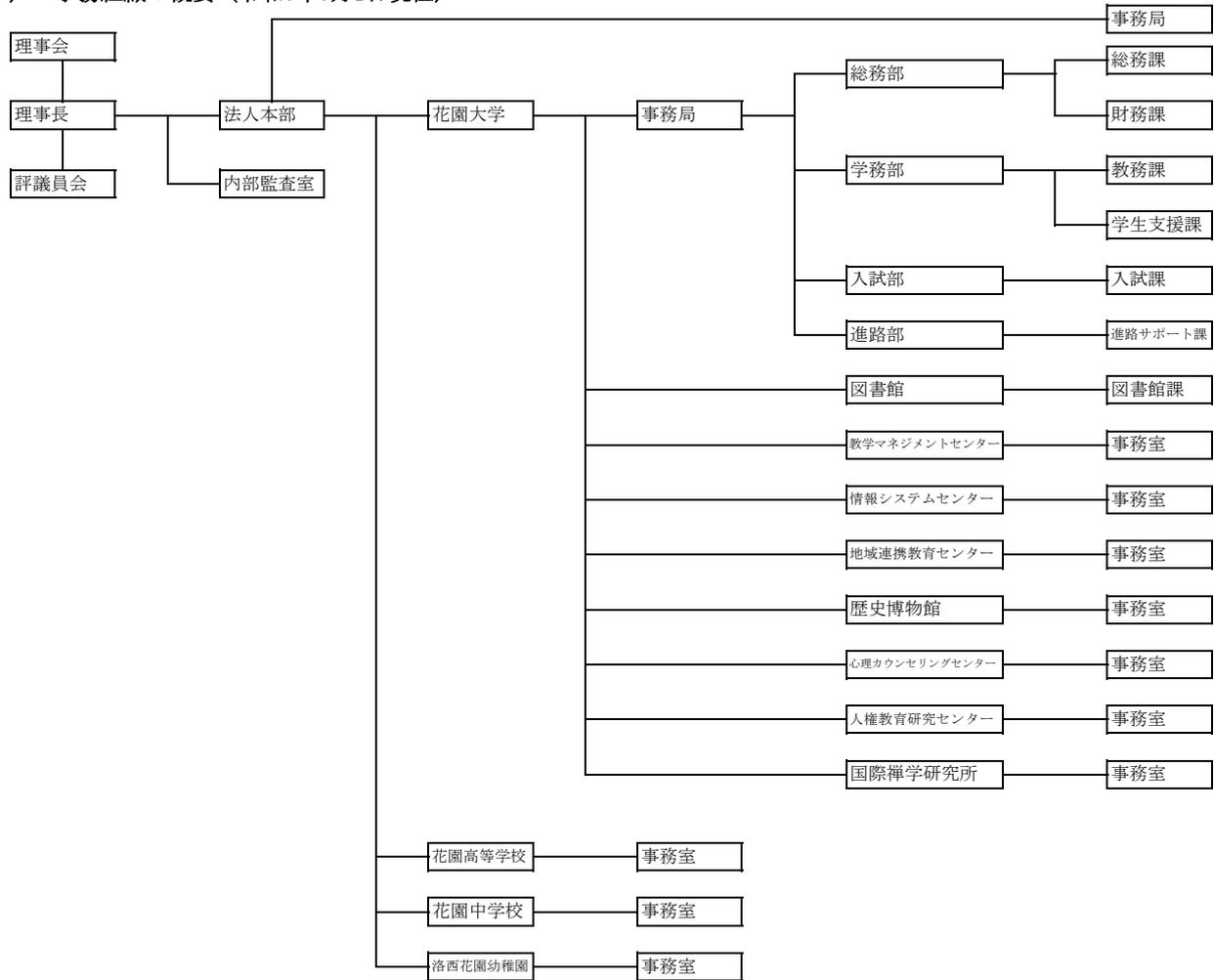
設置する学校	学部・学科等
花園大学大学院	文学研究科
	文学研究科修士課程
	文学研究科博士後期課程
	社会福祉学研究科
	社会福祉学研究科修士課程
花園大学	文学部
	仏教学科
	日本史学科
	日本文学科
	社会福祉学部
	社会福祉学科
	臨床心理学科
	児童福祉学科
留学生別科（募集停止）	
花園高等学校	全日制（普通科）
	全日制（自動車工学科）（募集停止）
花園中学校	
洛西花園幼稚園	

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況（令和5年5月1日現在）

（単位：人）

学校名		入学定員	入学者	収容定員	現員
花園大学	文学部	160	125	640	543
	仏教学科	35	18	140	100
	日本史学科	65	65	260	257
	日本文学科	60	42	240	186
	社会福祉学部	245	195	980	852
	社会福祉学科	80	74	320	298
	臨床心理学科	85	80	340	349
	児童福祉学科	80	41	320	205
	文学研究科	17	7	36	16
	文学研究科修士課程	15	6	30	11
	文学研究科博士後期課程	2	1	6	5
	社会福祉学研究科	10	1	20	3
	社会福祉学研究科修士課程	10	1	20	3
	留学生別科（募集停止）	0	0	0	0
花園高等学校	320	441	960	1,304	
花園中学校	80	58	240	163	
洛西花園幼稚園	100	79	280	253	
合計	932	906	3,156	3,134	

(6) 事務組織の概要 (令和5年5月1日現在)



(7) 収容定員充足率 (毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
花園大学	95.62	104.00	101.91	93.91	84.37
花園高等学校	103.13	106.67	113.86	126.25	135.83
花園中学校	83.75	77.08	67.92	66.67	67.92
洛西花園幼稚園	71.43	73.57	83.21	88.21	90.36

(8) 役員の概要(令和5年5月1日現在)

理事定員：11名以上13名以内 監事定員：2名
 理事現員：11名 監事現員：2名
 理事長 野口 善敬
 専務理事 栗原 正雄
 常務理事 堀尾 和良、足立 宜了、磯田 文雄、溜 剛
 理事 中島 浩晶、小山内定代、津田佐兵衛、鬼頭 孝道、宮川 潤一
 監事 若山 昌子、佐野 泰典

(9) 評議員の概要(令和5年5月1日現在)

評議員定員：26名以上31名以内
 評議員現員：26名
 評議員 野口 善敬、栗原 正雄、堀尾 和良、足立 宜了、磯田 文雄、溜 剛、
 中島 浩晶、小山内定代、真常 紹天、吹田 良忠、小林 秀嶽、山本 清文、
 福富 昌城、師 茂樹、鏑田 英希、秦 美香子、中村 広記、肥田 明啓、
 細川 晋輔、川本 成吾、高橋 乾峰、梅 俊行、宮川 潤一、津田佐兵衛、
 川島由里子、千代 眞一

(10) 教職員の概要（令和5年5月1日現在）

（単位：人）

区分		法人本部	花園大学	花園高等学校	花園中学校	洛西花園幼稚園	計
教員	本務	0	64	90	26	13	193
	兼務	0	136	27	2	15	180
職員	本務	3	48	20	1	1	73
	兼務	0	27	8	2	1	38

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

<花園学園>

1. 学校法人花園学園中期計画の推進
2. 学園ガバナンス・コンプライアンスの強化
3. 教育改革の推進

<花園大学>

1. 建学の精神「禅的仏教精神に基づく人格の陶冶」を具現化し、自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人間を育成するため、新しい花園大学中期ビジョン2022-2026の具体的施策を推進する。
2. 小学校及び特別支援学校で指導的立場に立つ教員を養成する魅力ある教育系新学部の設置を推進する。

<花園中学高等学校>

1. 建学の精神に基づく教育の実践
2. 夢を育て高い目標を持つ
3. 21世紀型教育の取り組み
4. 健全な学校運営

<洛西花園幼稚園>

1. 基本的な生活習慣の形成
2. 教職員の資質向上
3. 安全、安心の幼稚園づくり
4. 健全な幼稚園運営

(2) 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

<花園学園>

1. 学校法人花園学園中期計画の推進

各校が制定した計画に基づいて、事業の遂行に取り組みました。

2. 学園ガバナンス・コンプライアンスの強化

学園ホームページの運用により、役員の状況や決算など法令、学園寄附行為に定める情報発信を行った他、女性活躍推進法に係る情報公表にも務めました。

令和7年度からの寄附行為改正施行に向けて、改正の方針を作成して常務理事会での議論を重ね、評議員会に対しても方針の説明を行ない、改正に向けた議論を進めました。

3. 教育改革の推進

新学部の教育の質を担保するため、設置年月を令和7年4月から令和8年4月に延期しました。

<花園大学>

1. 花園大学中期ビジョン2022-2026の具体的な施策を計画し、以下のとおり実行しました。

【学生サポート】

入学前教育は学科別課題を課し、未提出者には提出を促す取り組みを行い、高大連携は、本学の良さをアピールする為、来校型の見学会を積極的に開催しました。また、学生・教員間の信頼関係構築の為、コロナ禍で中断していた新入生オリエンテーションを学科の特性を生かした形で再開しました。

学生の状況を把握し、サポートする為、基礎教育の1年次から2年次にかけての必修科目を学科専任教員が継続して担当し、3・4回生はゼミ担当者を担任とし、定期面談を実施しています。

配慮や心配事を有する学生について、学生相談支援室を核として面談を行っています。面談は学生に係る事務局に加え、所属学科教員も参加し、個別の対応内容を協議しています。

特待生制度を実施しつつ、一般選抜の成績優秀者を対象に給付型奨学金制度を創設、さらに自己推薦、学校推薦型選抜（指定校）、仏教学科女子枠、社会福祉学部での各種特待生制度を実施しました。

2023年度より、利便性の高い環境を整備や、セキュリティ強化等、安心安全な環境を構築する為、学生利用PCの定期メンテナンスの頻度向上や、24時間・365日監視の専用線の業者変更接続・UTM（ファイヤウォール）更新等を実施しました。

課外活動は22団体を公認団体とし、昨年度同様に活動費用の一部を援助しました。このうち硬式野球部は京滋大学野球春季リーグ戦において7年ぶり2回目の優勝を果たし、全日本大学野球選手権大会に出場しました。

卒業予定学生全員を対象に進路状況調査を行い、個々の状況把握や、就職情報提供を行う等個別サポートを実施。2023年度からは、2回生必修科目の講義にて、進路・就職サポート概要を説明、3回生時はサポートセミナー、4回生時は個々の状況に応じたバックアップセミナー（履歴書の書き方や面接対策等実践講座）を開催しました。

京都府や滋賀県と花園大学との就職支援協定、京都ジョブパーク等と連携し、進路支援につとめています。2023年度は新たに、学内のキャリア講義や、京都ジョブパークのインターンシップ事業を活用し、障害のある学生が社会生活へスムーズに移行できるようサポートを行いました。

進路サポートシステムの「来校求人検索」機能を使い、企業等とのマッチングに活用したり、多くの企業・団体を招き、就職説明会を開催しました。2023年度からは、公安系公務員合同説明会（京都府警察・皇宮警察・京都府警務所・防衛省自衛隊・京都市消防局・海上保安庁）を実施しました。

2023年度は、3回生対象早期選考型インターンシップが増えつつあり、情報提供に努めた他、低回生対象の職業体験の受け入れを、来校企業・団体に新規依頼する等開拓に努めました。また、本学卒業生を採用している地域の企業等をお招きして「学修成果意見交換座談会」を開催し、採用に関する情報聞き取りを行いました。さらに、企業の大学訪問ツアーとして、5社に来校いただき、本学の教育内容の紹介、学生のPR等の場を設ける等、周辺地域の企業の新規開拓を行いました。

【教育】

学生の学びに有効なカリキュラム整理を行う為、授業科目の新設、履修年次の変更等、全学的な教育課程の見直しを行いました。

3、4年次の演習に繋げる為、初年次教育科目を学科教員が担当することで担任制と連動させ、カリキュラムの見直しを実施しました。

多くの学生に、地域人材の資質を身に付けさせる為、地域課題の解決を目指す講義の入門編となる科目を、2024年度から新設することを決定し、この新設科目を全学科の学生が受講できるよう設定しました。

【研究】

計画的に研究を遂行できるような手続き方法を運用し、研究支援を行いました。

各教員に外部資金の獲得に力を入れるよう会議等で促した結果、科研費等の外部資金の応募・採択件数が昨年度より増加しました。

【組織】

学内の教職員を講師とした、まなび庵や月一座禅会を毎月実施した上、2023年度はこれらを同日に開催することで、花園大学らしさをアピールしました。他に、絵本フェスティバルやカエルキャラバン等を開催しました。

教員研究業績をHPで公開。また、2023年度は、教養教育課程において、中国語や韓国語等、外国語科目群の概要を一覧にまとめ、1回生全員に配布して魅力をアピールしました。

昨年度同様、高校訪問により、高校の進路指導関係者との関係強化を図り、ニーズの聞き取りを行った他、学長は入試課スタッフとともに、滋賀、京都、福井の高校を昨年の29校を上回る44校を訪問し、校長から直接意見を聴き、教員の質を向上させ、カリキュラム改革をより充実させるため、教員採用及び教員審査について外部審査委員制度を導入、また国際公募を行っています。

2023年度は、機器の保守点検範囲を見直し、稼働率の低い機器は対象から外す等、経費削減に取り組みました。

私立大学等改革総合支援事業に関する補助金獲得を目指し、各部署で必要な取組に着目し、着手への準備を行いました。

PDCA体制の確立がまだできていないので、早急に確立します。

2. 魅力ある新学部設置のため、内容の充実を行いました。

1年次より、フィールドワーク等の体験や実習を通じて、知識にとどまらない「実践」できるカリキュラムを設計しています。また、多様な人々と共働する機会を設けたり、探求的な学びを繰り返すことで課題解決ができるような力を身に付けさせ、卒業後の教育現場において「実践」できる力を身に付けるカリキュラムを検討しています。

より質の高い教育を実現するため、教員選考により多くの時間が必要と判断し、教育力・研究力のある教員を公募中を行っています。

パンフレットの作成と全国の高校への発送及び、入試課の高校訪問にて新学部設置をアピールしました。

<花園中学高等学校>

1. 建学の精神に基づく教育の実践

各コースとも年度当初に計画を立案し、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行となる中、実施可能な形態に移行させながら教育活動を実施しました。

2. 夢を育て高い目標を持つ

新型コロナウイルス感染症が第5類移行となる中、中高一貫コースで実施している海外研修は可能な限り実施できませんでした。海外大学に進学するという夢をもった生徒のために授業内容を工夫しモチベーション維持に努めました。同時に海外大学から国内大学進学に変更する生徒の進路保障のため、引き続き柔軟なカリキュラムの選択を可能にし、また高校の3コースでは主体的に学習できるように、多数のEX講座や特別講座の開講や独習会の実施に努めました。

3. 21世紀型教育の取り組み

生徒や保護者、教職員における感染症対策にも配慮し、上記取組の充実を図った。その中でも本校におけるICT利活用教育の環境整備と推進を土台に引き続きICTを利活用した、AL型授業の更なる実施に向けて取り組んでいきます。

4. 健全な学校運営

昨年の創立150周年記念事業による新しい校舎に加えて、感染症対策も行いながら安心して丁寧な学校説明会やオープンキャンパスを繰り返し実施したことによって、昨年と同程度の生徒数の確保ができました。今後とも、生徒数が増加したために教育内容の質や水準が低下した、というようなことのないように、気を引き締めて日々の教育活動を実施していきます。

<洛西花園幼稚園>

1. 基本的な生活習慣の形成

仏教行事（花まつり・成道会・涅槃会・仏参）を通して、仏教の教えに触れ、妙心寺派の和尚様のご協力のもと子どもたちと一緒に過ごす時間を持つ事が出来ました。また視覚教材等（スライド・紙芝居）を用いてわかりやすく、仏教教育を行うことが出来ました。

登降園時には、幼稚園正門に教職員が立ち、教職員やお友達に挨拶がしっかりと行えるように取り組んだと共に、自主的に六地藏さまやみ仏さまへのお参りを習慣づけることが出来ました。

保護者向けに仏教行事の内容など手紙で配信し、理解や協力を得ることが出来ました。

幼稚園での様々な経験や体験を通し、心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成に繋げる事が出来ました。

2. 教職員の資質向上

職員会議を充実し、目標を持ちながら保育を行う事で、教職員同士が切磋琢磨した他、園内研修として講師の先生を招き研修を行うことで教職員の保育に向けた意欲が高まりました。また、園外研修会にも積極的に参加出来ました。

毎日行う終礼で一日の出来事など話し合い教職員同士が共通理解し明日への保育に繋げる事が出来ました。

3. 安全、安心の幼稚園づくり

避難訓練の実施により、安心・安全な幼稚園づくりに努めました。

幼稚園生活が安全なものとなるよう教職員による協力体制の下、園児の主体的な活動を大切にしつつ園庭や園舎などの環境の配慮や工夫を行った他、幼児の安全確保を図るため、教職員で園内の危険箇所を常に巡回しました。また、園児の遊びのルールや道具の使い方などを徹底することで怪我やトラブルの減少に繋がりました。

4. 健全な幼稚園運営

未就園児対象のバンビの会やリンちゃんクラブの開催により園の評判が広がったことで、入園児数の安定に繋がりました。

日々の丁寧な保育に加え、家庭との連携を密に取り、安心かつ健全に園児が過ごせる環境づくりが出来ました。

就労する保護者が増え、預かり保育を利用する園児が増加したことで預かり担当の教職員体制も充実させより一層安全に楽しく過ごせるように配慮しました。

ホームページを見て見学をされる未就園児保護者も多いため幼稚園情報は、素早い掲載を心がけました。

自園給食によって栄養バランスを考えたメニューの提供が出来た結果、好き嫌いをせず食する子供が増えました。

絵本コーナーを新たに設置し、園児の教育環境を整備しました。

3. 財務の概要

(1) 経年比較

① 貸借対照表

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
固定資産	28,358,357	28,754,343	29,338,154	28,736,891	29,997,082
流動資産	3,406,808	3,815,346	4,402,694	4,834,566	3,081,200
資産の部合計	31,765,166	32,569,689	33,740,848	33,571,458	33,078,282
固定負債	1,408,811	2,578,402	3,574,659	3,480,474	3,299,513
流動負債	718,548	738,961	825,281	939,249	796,052
負債の部合計	2,127,359	3,317,364	4,399,940	4,419,724	4,095,565
基本金	29,645,746	30,448,949	31,462,073	31,357,618	32,514,435
繰越収支差額	△ 7,939	△ 1,196,624	△ 2,121,164	△ 2,205,884	△ 2,531,718
純資産の部合計	29,637,806	29,252,325	29,340,908	29,151,733	29,982,717
負債の部及び純資産の部合計	31,765,166	32,569,689	33,740,848	33,571,458	33,078,282

(千円未満は切り捨て)

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
運用資産余裕比率	3.54年	2.96年	2.62年	2.54年	2.49年
流動比率	474.12	516.31	533.48	514.73	387.06
総負債比率	6.70	10.19	13.04	13.17	12.38
前受金保有率	706.25	869.57	977.16	1,204.95	1,274.79
基本金比率	98.65	94.70	91.39	91.96	92.50
積立率	105.21	98.41	92.93	94.87	91.49

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	2,666,010	2,796,141	2,819,599	2,813,199	2,777,796
手数料収入	75,421	66,112	59,199	66,223	60,989
寄付金収入	363,268	237,983	239,811	141,418	59,354
補助金収入	823,466	1,012,557	1,228,228	1,006,320	985,464
資産売却収入	349,836	1,215,776	2,067,748	158,077	240,199
付随事業・収益事業収入	7,658	1,852	12,359	13,988	16,672
受取利息・配当金収入	211,483	208,659	204,886	211,673	245,413
雑収入	122,439	74,813	228,723	227,118	187,034
借入金等収入	433,320	1,280,000	1,210,000	100,000	0
前受金収入	453,430	414,262	405,530	389,269	223,144
その他の収入	330,285	1,083,104	1,169,657	1,771,918	3,338,863
資金収入調整勘定	△ 656,310	△ 639,934	△ 848,947	△ 527,547	△ 592,102
前年度繰越支払資金	3,413,544	3,202,342	3,602,313	3,962,665	4,690,505
収入の部合計	8,593,854	10,953,674	12,399,109	10,334,327	12,233,333

支出の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費支出	2,457,683	2,406,748	2,625,743	2,410,786	2,474,912
教育研究経費支出	1,097,041	1,323,002	1,211,852	1,245,347	1,208,442
管理経費支出	339,006	270,771	329,790	285,003	220,185
借入金等利息支出	1,479	2,173	3,867	5,006	5,026
借入金等返済支出	35,888	35,888	37,142	203,173	155,598
施設関係支出	781,430	1,936,581	1,555,895	1,131,894	20,683
設備関係支出	82,778	247,791	133,018	278,915	45,501
資産運用支出	605,385	1,021,229	2,345,572	90,844	4,968,451
その他の支出	198,585	254,012	312,954	219,559	446,844
資金支出調整勘定	△ 207,765	△ 146,838	△ 119,392	△ 226,710	△ 156,933
翌年度繰越支払資金	3,202,342	3,602,313	3,962,665	4,690,505	2,844,621
支出の部合計	8,593,854	10,953,674	12,399,109	10,334,327	12,233,333

(千円未満は切り捨て)

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,730,020	3,931,143	4,191,665	4,171,707	4,085,815
教育活動資金支出計	3,893,730	4,000,522	4,127,537	3,938,588	3,909,305
差引	△ 163,710	△ 69,379	64,128	233,118	176,509
調整勘定等	△ 21,670	21,628	△ 97,583	261,455	△ 204,688
教育活動資金収支差額	△ 185,381	△ 47,750	△ 33,455	494,574	△ 28,178
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	378,435	1,018,744	1,196,368	1,265,146	2,002,501
施設整備等活動資金支出計	1,070,149	2,286,146	2,301,883	1,431,198	2,073,012
差引	△ 691,713	△ 1,267,402	△ 1,105,514	△ 166,051	△ 70,510
調整勘定等	113,305	△ 71,568	△ 244,854	171,863	△ 1,400
施設整備等活動資金収支差額	△ 578,408	△ 1,338,970	△ 1,350,369	5,811,723	△ 71,911
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 763,789	△ 1,386,720	△ 1,383,824	500,386	△ 100,089
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,109,497	2,853,784	3,665,448	646,258	1,728,994
その他の活動資金支出計	540,716	1,051,880	1,922,245	412,311,243	3,477,429
差引	568,780	1,801,904	1,743,202	233,947	△ 1,748,434
調整勘定等	△ 16,722	△ 15,213	974	△ 6,492	2,639
その他の活動資金収支差額	552,058	1,786,691	1,744,176	227,454	△ 1,745,794
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 211,731	399,970	360,351	727,840	△ 1,845,884
前年度繰越支払資金	3,413,544	3,202,342	3,602,313	3,962,665	4,690,505
翌年度繰越支払資金	3,202,342	3,602,313	3,962,665	4,690,505	2,844,621

(千円未満は切り捨て)

ウ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動資金収支差額比率	△ 4.79	△ 1.21	△ 0.80	11.86	△ 0.69

③ 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

事業活動収入の部	科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	学生生徒等納付金	2,666,010	2,796,141	2,819,599	2,827,796	2,777,796	
手数料	75,421	66,112	59,199	66,223	60,989		
寄付金	61,747	48,407	39,358	45,408	59,410		
経常費等補助金	797,702	945,306	1,032,426	1,005,952	980,907		
付随事業収入	7,658	1,852	12,359	13,988	16,672		
雑収入	109,527	65,402	180,859	239,905	205,339		
教育活動収入計	3,718,068	3,923,223	4,143,802	4,199,274	4,101,114		
事業活動支出の部	科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	人件費	2,459,751	2,384,851	2,569,914	2,405,286	2,461,796	
	教育研究経費	1,478,486	1,761,397	1,635,383	1,717,366	1,741,629	
	管理経費	376,830	321,947	335,758	331,745	282,763	
	徴収不能額等	82	267	6,738	14,597	8,905	
	教育活動支出計	4,315,149	4,468,464	4,547,794	4,468,994	4,495,093	
教育活動収支差額		△ 597,081	△ 545,241	△ 403,992	△ 269,720	△ 393,978	
教育活動外収入の部	科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	受取利息・配当金	211,483	208,659	204,886	211,673	245,413	
	その他の教育活動外収入	0	450	17,782	13,318	1,804	
	教育活動外収入計	211,483	209,109	204,904	224,991	247,218	
	教育活動外支出の部	科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		借入金等利息	1,479	2,173	3,867	5,006	5,026
その他の教育活動外支出		0	6,928	0	10	0	
教育活動外支出計		1,479	2,180	3,867	5,017	5,026	
教育活動外収支差額		210,004	206,929	201,036	219,974	242,191	
経常費収支差額		△ 387,076	△ 338,312	△ 202,955	△ 49,745	△ 151,787	
特別収入の部	科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	資産売却差額	0	2,019	36,985	0	9,112	
	その他の特別収入	328,258	259,056	398,020	96,381	4,629	
	特別収入計	328,258	261,076	435,006	96,381	13,742	
	特別支出の部	科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		資産処分差額	26,945	308,245	103,619	233,260	30,971
その他の特別支出		0	0	39,848	2,548	0	
特別支出計		26,945	308,245	143,468	235,809	30,971	
特別収支差額		301,312	△ 47,169	291,538	△ 139,428	△ 17,229	
基本金組入前当年度収支差額		△ 85,763	△ 385,481	88,582	△ 189,174	△ 169,016	
基本金組入額合計		△ 517,527	△ 803,203	△ 1,013,123	104,454	△ 156,817	
当年度収支差額		△ 603,290	△ 1,188,684	△ 924,540	△ 84,719	△ 325,833	
前年度繰越収支差額		595,351	△ 7,939	△ 1,196,624	△ 2,121,164	△ 2,531,718	
基本金取崩額		0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 7,939	△ 1,196,624	△ 2,121,164	△ 2,205,884	△ 2,531,718	

科目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業活動収入計	4,257,810	4,393,409	4,783,713	4,520,647	4,362,075
事業活動支出計	4,343,574	4,778,890	4,695,130	4,709,821	4,531,092

(千円未満は切り捨て)

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業活動収支差額比率	△ 2.01	△ 8.77	1.85	△ 4.18	△ 3.87
学生生徒等納付金比率	67.85	67.66	64.84	63.92	63.88
人件費比率	62.20	57.71	59.10	54.37	56.61
教育研究経費比率	37.62	42.62	37.61	38.82	40.05
管理経費比率	9.59	7.79	7.72	7.50	6.50

(2) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

収入の部、学生生徒等納付金収入は前年度比で学生数の減少等により35,403千円の減額となりました。また、学園創立150周年記念事業が令和4年度に終了したことにより寄付金収入は82,064千円の減額となりました。令和6年度入学生の学費前受金の見直しにより前受金収入は166,125千円の減額となりました。その他の収入は、引当特定資産の運用に関して1,566,945千円の増額となりました。

支出の部、人件費支出は職員の増により前年度比64,126千円の増額となりました。教育研究経費支出は国の電気ガス価格激変緩和対策事業による光熱水費の費用減少や委託費用の見直し等節減に取り組み36,905千円の減額となりました。管理経費支出も同様に広報の見直し等により64,818千円の減額となりました。施設関係支出は学園創立150周年記念事業に係る構内整備が完了したことから1,111,211千円の減額となりました。資産運用支出は資産の運用見直しにより4,877,607千円の増額となりました。以上から、翌年度繰越支払資金は1,845,884千円減額の2,844,621千円となりました。

事業活動収支は、経費の削減に努めた一方で、施設設備更新による減価償却額が増額となったことから経常収支差額は前年度より102,042千円悪化し、△151,787千円となりました。特別収支、基本金組入額合計を合わせた当年度収支差額は△325,833千円となりました。